

首都圏でも有数の「人が集まる文化祭」として定評のある海城と早稲田実業学校の文化祭を取材。両校とも創立から100年以上の歴史を持つ伝統校で、卒業生も積極的に参加して大いに盛り上がります。



社会に開かれた
活気ある文化祭

天 候に恵まれた9月の週末。韓流の街と知られ、常に

たくさんの人でにぎわう新大久保。とくに週末の駅周辺は大変混み合い、飛び交う外国語や街の騒音で、会話もかき消されてしまうほどです。そんな喧噪の中「海城祭にお越しの方はこちらです！」という生徒たちの大きな声が聞こえてきます。横断歩道や正門付近には、きびきびと交通整理をし、誘導してくれる生徒たちの姿があります。

海城祭のゲートをくぐると中庭のステージ前周辺には吹奏楽の演奏などの出し物を見る人や屋台を楽しむ人が集まっています。各教室では工夫がいっぱいの体験型の企画や、見て楽しめる展示・演劇、模擬授業などがあり、ところどころで行列ができています。

そこにも、立ち止まっている人に「ご案内しましょうか」「何かお困りですか」と話しかけてくれたり、道案内をお願いするとわかりやすく説明してくれ「いってらっしゃい！」と笑顔で見送ってくれる生徒たちがいます。また、巧みにプレゼンや実験を披露して、子どもたちや保護者に囲まれる生徒

第127回
海城祭 **燦**
～be the light～



海城

Information

●海城中学高等学校

(東京都新宿区・男子校)

沿革：1891(明治24)年古賀喜三郎が私財を投じて現在の趣向に創立した「海軍予備校」が始まり、1900年に海軍予備校を海城学校と改称。1927年に現在の新大久保の地に移転。戦後の学制改革政策により1947年に新制海城中学校、1948年に新制海城高等学校として発足し、現在に至る。

アクセス：JR山手線「新大久保」駅より徒歩5分／地下鉄副都心線「西早稲田」駅より徒歩8分／JR中央総武線「大久保」駅より徒歩10分／JR山手線地下鉄東西線「高田馬場」駅より徒歩12分／地下鉄副都心線・大江戸線「東新宿」駅より徒歩12分

海軍兵学校への進学者を育てる海軍予備校として「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神の下に設立された伝統校。その建学の精神の下、戦後は進学校として実績を高めていきます。創立101年目の1992年、当時は東大合格者が30人を超え、進学校としての評判が定着する中、学校改革をスタート。生徒会や部活動にも力を入れ、帰国子女枠も設けられました。以来、総合学習や体験学習などの特徴ある学びを取り入れ、高校入試を廃止して完全中高一貫制に改めるなど、永続的に学校改革を行い、それによって進学校という面以外での注目度も高い学校です。



改革で掲げられる「新しい人間力」とは、「コミュニケーション力」とコラボレーション力を兼ね備えた力のことです。こうした力を育む体験学習として、仲間と共にさまざまな課題に挑むプログラム「プロジェクトアドベンチャー(PA)」や、演劇的手法を用いて人間関係力を深める「ドラマエデュケーション(DE)」などがあります。校長特別補佐の中田大成先生は「その成果の一つとして今ではDEを通して対話とホスピタリティーの力がかなり高まりました」と話します。「海城は変わった。生徒たちがイキイキとしている。本当にいい学校になった」。文化祭にやってきた卒業生の言葉が、それを裏付けています。

改革で掲げられる「新しい人間力」とは、「コミュニケーション力」とコラボレーション力を兼ね備えた力のことです。こうした力を育む体験学習として、仲間と共にさまざまな課題に挑むプログラム「プロジェクトアドベンチャー(PA)」や、演劇的手法を用いて人間関係力を深める「ドラマエデュケーション(DE)」などがあります。校長特別補佐の中田大成先生は「その成果の一つとして今ではDEを通して対話とホスピタリティーの力がかなり高まりました」と話します。「海城は変わった。生徒たちがイキイキとしている。本当にいい学校になった」。文化祭にやってきた卒業生の言葉が、それを裏付けています。

改革で掲げられる「新しい人間力」とは、「コミュニケーション力」とコラボレーション力を兼ね備えた力のことです。こうした力を育む体験学習として、仲間と共にさまざまな課題に挑むプログラム「プロジェクトアドベンチャー(PA)」や、演劇的手法を用いて人間関係力を深める「ドラマエデュケーション(DE)」などがあります。校長特別補佐の中田大成先生は「その成果の一つとして今ではDEを通して対話とホスピタリティーの力がかなり高まりました」と話します。「海城は変わった。生徒たちがイキイキとしている。本当にいい学校になった」。文化祭にやってきた卒業生の言葉が、それを裏付けています。

たちがいます。そんな交流の様子が印象的な文化祭でした。海城は「新しい学力」「新しい人間力」の教育を掲げた改革を続けており、その一つの成果として、生徒が社会に出ていき、評価をされる機会が増えています。例えば海城祭では2018年度模擬国連国際大会で最優秀大使賞という輝かしい実績をあげた「グローバル部」の展示とプレゼンテーションが多くの人々の関心をひいていました。そうした取り組みによって、海城祭の様子も変わってきたようです。

